

教育厚生委員会会議録

日時 令和6年2月29日（木） 開会時間 午前 9時59分
閉会時間 午前12時00分

場所 委員会室棟 第2委員会室

委員出席者 委員長 白井 友基
副委員長 中村 正仁
委員 久保田松幸 宮本 秀憲 伊藤 毅 寺田 義彦
古屋 雅夫 菅野 幹子 志村 直毅

委員欠席者 なし

説明のため出席した者

感染症対策統轄官 成島 春仁 感染症対策統轄官補 佐野 満
感染症対策監 大森 栄治 グリーン・ゾーン推進監 小川 敏幸

福祉保健部長 井上 弘之 福祉保健部次長 土屋 嘉仁
福祉保健部次長 植村 武彦 福祉保健総務課長 小澤 理恵
健康長寿推進課長 清野 浩 国保援護課長 知見 圭子
障害福祉課長 渡邊 文昭 医務課長 若月 衛 衛生薬務課長 藤巻 勤
健康増進課長 清水 康邦

子育て支援局長 斉藤 由美 子育て支援局次長 三井 博志
子育て政策課長 山本 英治 子ども福祉課長 篠原 孝男

教育長 降旗 友宏 教育次長 河野 公紀 教育監 市川 敏也
教育監 初鹿野 仁 次長（総務課長事務取扱） 小林 洋一
教育企画室長 岩出 修司 福利給与課長 永井 研一
学校施設課長 白須 慎一 義務教育課長 小池 孝二
高校教育課長 萱沼 恵光 特別支援教育・児童生徒支援課長 鷹野 美香
生涯学習課長 平賀 貴久子 保健体育課長 山田 芳樹

議題

（付託案件）

- 第49条 山梨県公立学校情報通信機器整備基金条例制定の件
- 第51号 山梨県安心こども基金条例中改正の件
- 第53号 令和5年度山梨県一般会計補正予算（第9号）第1条第2項歳出中教育厚生委員会関係のもの、第2条繰越明許費の補正中教育厚生委員会関係のもの及び第3条債務負担行為の補正中教育厚生委員会関係のもの
- 第59号 令和5年度山梨県国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

審査の結果 付託案件については、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

審査の概要 まず、委員会の審査順序について、感染症対策センター・福祉保健部・子育て支援局関係、教育委員会関係の順に行うこととし、午前9時59分から午前11時8分まで感染症対策センター・福祉保健部・子育て支援局関係の審査を行い、休憩をはさみ、午前11時25分から午前12時まで教育委員会関係の審査を行った。

主な質疑等 感染症対策センター・福祉保健部・子育て支援局関係

※第51号 山梨県安心こども基金条例中改正の件

質疑 なし

討論 なし

採決 全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

※第53号 令和5年度山梨県一般会計補正予算（第9号）第1条第2項歳出中教育厚生委員会関係のもの、第2条繰越明許費の補正中教育厚生委員会関係のもの及び第3条債務負担行為の補正中教育厚生委員会関係のもの

質疑

 （感染症患者措置事業費、ホームケア事業費について）

志村委員 感染症患者措置事業費、ホームケア事業費について、先ほどの御説明では、令和6年度も見込まれるため、繰越明許をするとのことですが、今年の4月から通常の医療体制に変わっていくと思いますが、今回の繰越明許費は、令和5年度に実施しているものが令和6年度にまたがるという意味ですか。どういう内容ですか。

大森感染症対策監 委員の御指摘のとおり、公費負担につきましては、今年度、3月をもちまして終了しますが、そうした診療に対する請求につきましては、例えば、月遅れの診療の請求など、時効がまだありますので、令和6年度も請求される可能性があります。そうしたことに備え、今回、繰越明許費の設定をしているところです。

志村委員 財源は、県費と国庫補助が半分ずつなど、割合はどうなっていますか。

大森感染症対策監 全額、国の補助があります。来年度以降見込まれるものにつきましては、今年度中に国に請求することになっております。

 （看護師確保対策費について）

寺田議員 医務課の看護師確保対策費についてお伺いします。
 看護師不足は昨今の課題であると思いますが、予算額約4,000万円に対して、約2,800万円の大幅な減額補正ですが、この背景を説明していただけますか。

若月医務課長 看護師確保対策費2, 835万円の減額でございますが、内容は、看護職員の確保・定着を図るため、看護職員就労環境改善事業費補助金を創設し、新たに代替非常勤職員を雇うなど、常勤看護職員の勤務形態を変更して、短時間勤務正規職員制度を導入した場合に、その人件費増加分などに対し、補助率2分の1の助成をするものです。

ただ、勤務形態の変更ということで、なかなか医療機関から手が挙がってこない現状があり、12月時点で、制度を導入する医療機関はありませんでした。

その結果、4月から12月分の9カ月分の予算を減額補正するものでございます。

寺田委員 減額の理由として、そういうことしなくても職場環境が改善された、また、コロナが収まって職場環境が良くなったというプラスの理由ならいいと思いますが、今の説明によると、なかなか手が挙がらなかったということで、今後、どのように考えているのかお聞かせください。

若月医務課長 看護職員の数は増加しています。

ただ、その伸び率は鈍ってきている状況で、そうした中でコロナへの対応、働き方改革など、いろいろな要素が絡み合っていて、医療機関からは「看護職員が足りない」という声を伺っているところです。

総数を増やしていくことも必要ですが、個々の医療機関にヒアリングをすると、事情が若干違う状況が見えてきました。

そのため、これまでのように画一的に制度や仕組みを提示するよりも、個々の医療機関の状況をしっかり確認しなければいけないと考えています。

ただ、その辺りが私ども事務職員では心もとない部分もあり、県の看護協会と話をし、次年度、コンサル的な事業も考えているところでございます。

（医師確保対策費について）

古屋委員 福17ページ、医師確保対策費についてお伺いしたいと思います。

医師の確保策だと思いますが、何人ぐらい確保する予定でいたのか。その辺の状況を詳しくお聞かせいただきたいと思います。

若月医務課長 医師確保対策費、3, 200万円余の減額の内容については、医師修学・研修資金貸与事業費の事業実績見込額の減に伴う補正です。

当初予算では、医師修学資金として276人分、3億4, 800万円を、研修資金として18人分、2, 160万円を計上しました。

今年度の執行状況ですが、医師修学資金の新規枠57人分に対し、応募人数が20人ぐらい下回りました。また、継続分につきましても、212人のうち、6名が留年をしました。

その結果、不用額が生じた状況でございます。

（愛宕山こどもの国費について）

古屋委員 次に、子の10ページ、愛宕山こどもの国費の繰越明許費について、今、どのような状況なのか。進捗状況と繰越の詳細についてお伺いします。

山本子育て政策課長 愛宕山に中区配水池があり、水を供給する甲府市の依頼で、排水を送る管を移設する工事を行っています。

ただ、昨今の材料不足により、必要な電気ケーブル等の納品が遅れており、年度内に工事が完了することができなくなったため、次年度に繰り越すことと

なりました。

（国庫補助（負担）事業の確定に伴う国庫返還金について）

菅野委員 子の4ページ、一番上の10番の国庫返還金について、かなりの額を返還するようですが、この中身を教えてください。

山本子育て政策課長 事業の確定に伴う国庫返還金ですが、令和4年度の感染症の予防対策事業の確定に伴う補正となっております。

菅野委員 令和4年度の感染症予防対策事業の確定に伴うものを、今、返還するということですか。これは感染予防事業ということですが、コロナに関わるものですか。

山本子育て政策課長 全てがコロナというわけではございません。

主な内容としては、児童虐待・DV対策等総合支援事業費の返還金や、コロナの影響を受けたひとり親世帯に対する給付金として、子育て世帯生活支援特別給付金などの返還金となっております。

菅野委員 計上した予算額よりも実際の活用が少なかったため、約3億600万円を返還するという理解でよろしいでしょうか。

山本子育て政策課長 そのとおりです。

討論 なし

採決 全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

※第59号 令和5年度山梨県国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

質疑

（国庫支出金等償還費について）

菅野委員 福35ページの国庫支出金等償還費について、こちらも予算額に比べて補正額が大きくなっています。どのような中身なのかと、差が大きくなった理由を教えてください。

知見国保援護課長 内容は6事業ほどありますが、一番大きいものは、国民健康保険の療養給付費等負担金で5億6,000万円ほどの返還が生じております。

また、保険者努力支援制度事業費分についても、3,200万円ほどの返還が生じている状況でございます。

菅野委員 既定予算に比べ、差額が大きくなった理由は何かありますか。

知見国保援護課長 例えば、保険給付費については、当初予算計上の際は、前年度実績等を鑑み、推計していますが、医療に関するものなので、いろいろな要因により大きく増減いたします。そのため、国からいただいた交付金を返還する状況が発生することになります。

討論 なし

採決 全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

主な質疑等 教育委員会関係

※第49号 山梨県公立学校情報通信機器整備基金条例制定の件

質疑 なし

討論 なし

採決 全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

※第53号 令和5年度山梨県一般会計補正予算（第9号）第1条第2項歳出中教育厚生委員会関係のもの、第2条繰越明許費の補正中教育厚生委員会関係のもの及び第3条債務負担行為の補正中教育厚生委員会関係のもの

質疑

（DXハイスクール推進事業費について）

志村委員 教11ページ、高校教育課のDXハイスクール推進事業費1億円について、翌年度に繰り越すということですが、国の目安では、1校1,000万円となっています。山梨県内では、何校ぐらいを想定しているのでしょうか。

萱沼高校教育課長 現在、国で事業の募集をかけているところで、本日が締切りとなっております。こちらに応募をして採択された学校が、3月中に指定を受ける予定です。現在、7校が申請をしております。指定を受けた学校が、来年度、事業を実施していくこととなります。

※第50号 山梨県職員給与条例等改正の件（教育厚生委員会所管に係る部分）

質疑 なし

その他 ・ 本委員会が審査した事件に関する委員会報告書の作成及び委員長報告については委員長に委任された。

以 上

教育厚生委員長 白井 友基